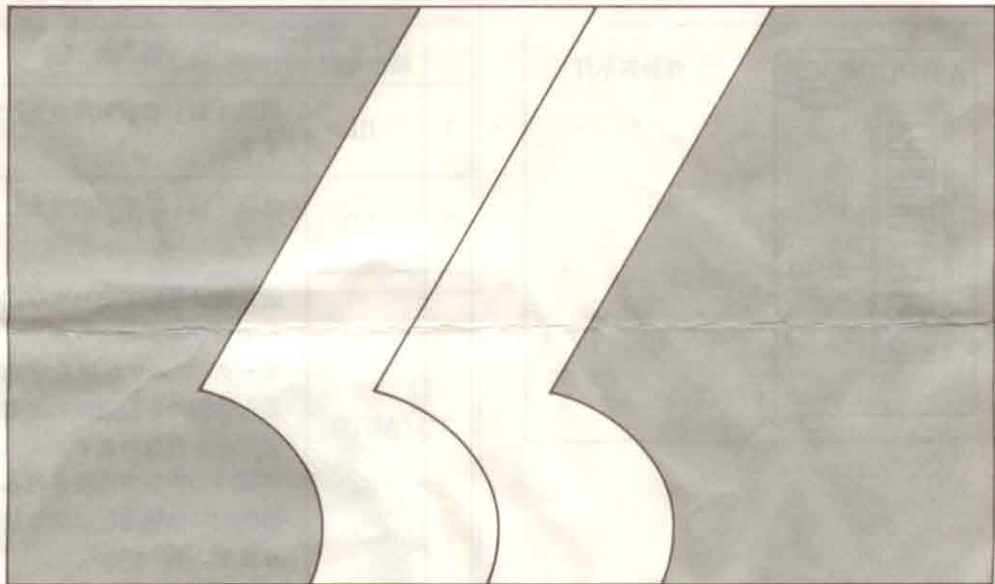


トヨタ純正

オート エアピュリファイヤー

取扱書



トヨタ スプリンター

はじめに

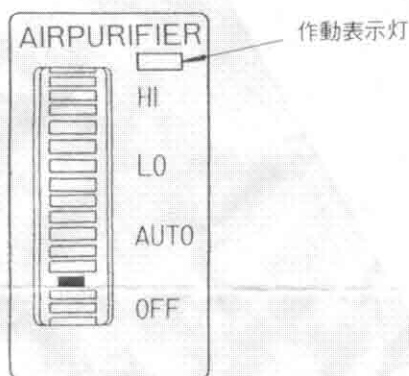
このたびは純正オート エアピュリファイヤーをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの取扱書をお読みいただき、正しい取り扱い方法により長くご愛用くださるようお願いいたします。

操作要領



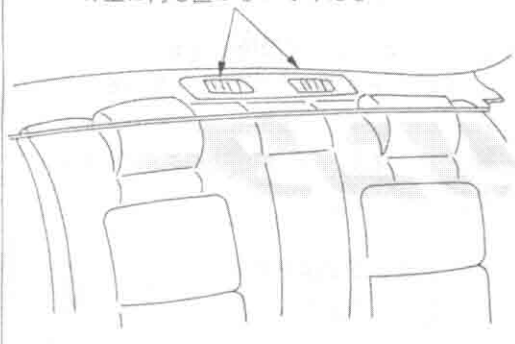
キー スイッチON（エンジン停止）の状態でも作動しますが、バッテリー上りの原因になりますので、必ずエンジンをかけた状態にちょっと一言 して下記要領で操作してください。



	スイッチ 操作位置	作 動 状 態
1	HI	送風「強」で空気清浄を行います。
2	LO	送風「弱」で空気清浄を行います。
3	AUTO	通常微風運転でモーターが回転しておりエアピュリ本体のスモーク センサーが煙を感知すると強弱の2段送風による空気清浄を行ないます。 車室内の空気が清浄されると自動的に微風運転に切り替わります。
4	OFF	空気清浄を停止します。

取り扱い上の注意事項

吸い込み口および吹き出し口の上に何も置かないでください



1. 吸い込み口および吹き出し口の上に物を置きますと吹き出し空気量が減少し、効率が悪くなりますので置かないでください。
2. 吸い込み口および吹き出し口のスリットから物を入れないでください。故障の原因になります。
3. 吸い込み口、吹き出し口および本体を「ベンジン」や「シンナー」などの溶剤でふかないでください。汚れた場合は、やわらかい布に水を浸してから強くしぼり、汚れをふき取ってください。
4. フィルタを入れずに作動させないでください。
5. フィルタは定期的に変換してください。

フィルタの交換について

フィルタは下記目安で交換してください。

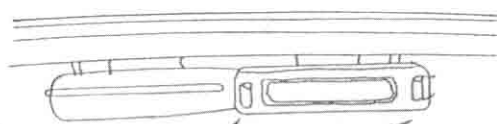
交換 時期	フ イ ル タ	半年または7,500 km毎
----------	---------	----------------



ちよっと一言

適切な交換時期はご使用条件により異なりますので、快適にご使用になるためにはなるべくお早めに交換されることをおすすめします。

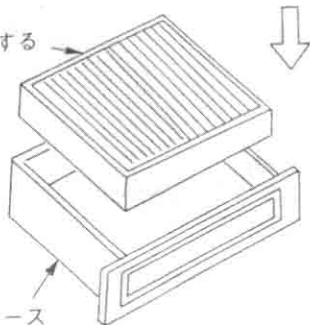
トランクルーム内



フックをはずして
フィルタ ケースを引き出す

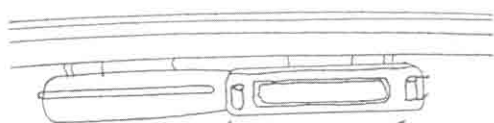
- フックをはずしてフィルタ ケースを引き出します。

ジャバラ面を
上にして挿入する



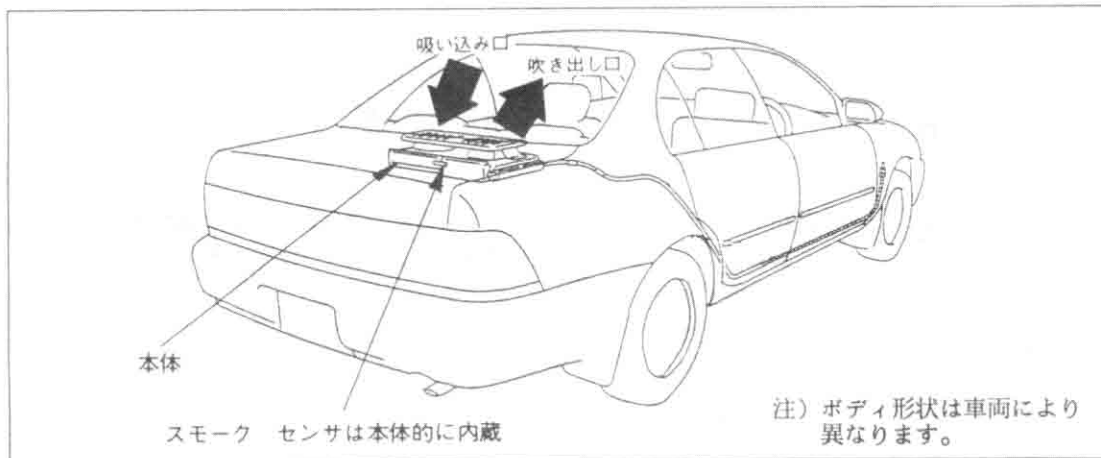
フィルタ ケース

- フィルタのジャバラ面を上にして挿入してください。



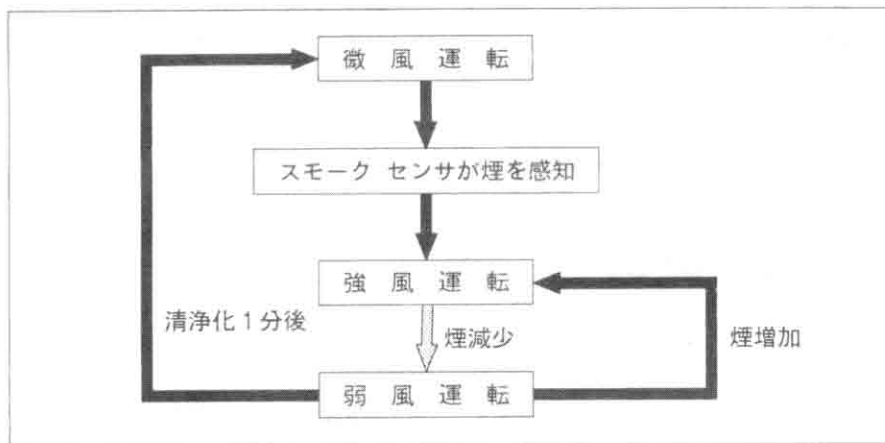
フィルタ ケースをセットする

- フィルタ ケースをセットする。



- 車室内は、タバコの煙や、外から侵入するちりやほこり等によって、いがいに汚れています。そして、この汚れが目やノドを痛める原因にもなることがあります。オート エアピュリファイヤーは、車室内の汚れた空気の微粒子を集じんする自動車用空気清浄器です。オート エアピュリファイヤーはタバコの煙などの汚れを感知するスモーク センサを本体内に内蔵しており、スイッチをAUTOに設定しておくだけで自動的に下図のサイクルで連続運転されます。

〈AUTO運転時の作動〉



1. スモーク センサが煙を感知すると、強風運転 を開始します。
2. その後、室内が清浄化され煙量が減少してきますと、弱風運転に切り替わり約1分後に微風運転に切り替わります。
3. 弱風運転中に煙量が増加しますと強風運転に切り替わります。



ちょっと一言

一度作動すると最低、強風約1分間、その後約1分間の合計約2分間の連続運転をするように設計してあります。